

競争的研究費の直接経費からの研究代表者(PI)の person 費支出に係る
活用実績報告書（令和5年度）

1. 実施状況

①事業名	②直接経費から 人件費を支出し た、所属 PI の人 数（人）	③所属する PI につ いて、直接経費から 支出した人件費の総 額（円）	④所属する PI につ いて、直接経費から人件 費を支出したことによ り確保した財源の総額 （円）
JST 戦略的創造研究推進 事業（CREST）	1	2,400,000	2,400,000
JST 戦略的創造研究推進 事業（さきがけ）	5	5,000,000	5,000,000
JST A-STEP 産学共同(育 成型)	1	1,153,000	1,153,000
JST 創発的研究支援事業	5	3,500,000	3,500,000
AMED 再生・細胞医療・ 遺伝子治療実現加速化プロ グラム	1	755,000	755,000
AMED 生命科学・創薬研 究支援基盤事業 (BINDS)	1	1,835,000	1,835,000
AMED 新興・再興感染症 に対する革新的医薬品等開 発推進研究事業	1	1,000,000	1,000,000
AMED 革新的先端研究開 発支援事業 (AMED-PRIME)	1	1,000,000	1,000,000
BRAIN 戦略的スマート 農業技術の開発・改良	1	1,000,000	1,000,000
NEDO 戦略的イノベーシ ョン創造プログラム（S I P）第3期	1	1,191,000	1,191,000
合計	18	18,834,000	18,834,000

2. 確保した財源の使途、具体的な活用内容、効果等

(本制度に申請した研究代表者等への研究力強化策)

- ・研究代表者等へのインセンティブ付与（特別貢献手当の支給）により、研究代表者等の処遇改善を行い、研究パフォーマンスの向上を図った。
- ・特別貢献手当について、具体的に下記のような活用、効果があった。
 - ▶出張時の保育費用に使用し、子育て中でも会議や学会に参加しやすくなった。
 - ▶家事・育児代行を使用して研究の時間を増やすことができた。
 - ▶処遇が改善されたことで、増えた仕事に対しての家族の理解を得ることができた。

(本部が講じた研究力強化策)

- ・研究戦略イニシアティブ推進機構の機能強化のため、全学的な研究支援を担う人材として研究推進部及びURA研究戦略推進室に配置する2名の事務職員（専門職員）を雇用した。

創発的研究支援事業、世界で活躍できる研究者戦略育成事業を中心に、若手研究者の育成及び研究環境の整備、外部資金獲得の支援等に係る全学的な研究支援を展開し、本学の研究力強化に貢献した。

3. 策定した活用方針や活用実績を公表している研究機関のホームページ等の URL を記載してください。なお、各研究機関における研究力向上に向けた実施事例については、好事例として政府のホームページでも公表させていただく場合があります。

「競争的研究費における制度改善について（通知）」に係る本学の対応について

<https://ura.sec.tsukuba.ac.jp/kyousoutekikennkyuuhiseido>